

人は皆、目的意識をもって生きています

人は幸福と発展を願って日々頑張っている。…、このことに関しては誰もが異存はない筈です。

そうして人々は、その目的達成のためにはどうしたら良いか？意識的にあるいは無意識的に懸命に考えたり工夫したりして日々の生活を送っている。そうして良きにつけ悪きにつけ自身が良いと思うさまざまな行動を取っているのです。

中には、近年、社会問題になっている引きこもりの若者のように、将来のことを何も考えることなく、一見自堕落のように流れのままに目的を持つことなく、

また考えることなく日々の生活を送っている人もいるかもしれません。が、そのような人でも毎日食事をし、排泄し、睡眠をとり、周囲の人と接し、外出すれば家に帰って来る…。厳密に捉えればその時その時に目的を設定して行動しているのです。人は意識的にあるいは無意識的にか？何らかの目的をもって考え工夫して生きています。

言葉を有しているから人間は万物の霊長

この地球で生を育んでいるありとあらゆる生物の中で、目的意識をもって考えたり工夫したりして生きている存在は人間以外にはない筈です。人間以外の総ての動植物は天から与えられた本能のままに生きているのです。

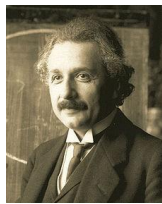
ここに人間と動植物との根本的な違いがあるのですが、では何でこのような差異が生じてくるのか？考えたことがあるでしょうか？それは人間だけが言葉を有しているからに他ならないのです。

遠く古代ギリシャの哲学者・アリストテレスは「人間は言葉の動物」と看破されていますが、人間は言葉を有しているから万物の霊長として君臨して今日の高度に進んだ文化文明を築くことが出来ているのです。

もし言葉を有していなければ、ただの動物にすぎない存在に陥ってしまうのです。



絶対性原理と相対性原理



大正十一年、ノーベル賞受賞直後にアインシュタインが来日した時に「相対性原理」の話題が沸騰しました。

その時に「相対性原理があるなら絶対性原理がある筈だ」と考えた変わった女学生がいました。以来、彼女は絶対性原理を探求し続け、辿り着いたところが光透波理論だったのです。写真左は晩年の小田野早秧先生です。

言葉が無ければ知の空白、思考も成立せず

このことに関し、光透波を啓かれた小田野早秧女史は自身の著書・「生命の原理」の中で次のように記されています。

「もし吾々に『ことば』がなくて『耳にきく』音感のすべてが、一様に何の意味にも感覚されず、『目に見る』すべて『無名』の实在の世界であったとすれば、吾々は何事をも何物をも『知る』という実感を得ることは不可能であろう。

こうして『知』の性能が空白なれば『考える』という事実も成立し得ない。体験体得といえども『感能力』から『ことば』をはずして何が成り立つであろう。

実に吾々が『感知』する事実の成立は、吾々が感覚する限りの实在現象が総て名詞(動詞も働きに対する名詞をなしている)になって、吾々の生命に感置されて『思考力』や『理解力』という知性能に活用されているからである」と。

視点を変えると、あらゆる創造物の中で、神は人間だけに言葉をお与えになられたということです。人間＝人言なのです。

言葉は人間生活の上で至上最高のもの

人は言葉のお陰であらゆるものを特定し認識することが出来、その名(=言葉)を駆使して思考し、判断し、想像をめぐらせ、欲望を膨らませ、学習を重ねて、意識を広め高め深めてゆくことが出来ているのです。

言葉があるからこそ人間は相互に意思伝達が出来、社会生活の全般が営まれているのです。もっと言えば私たちの「こころ」も実は「言葉」によって意識的、無意識のうちに生み出され、支配されているのです。

そして善きにつけ悪しきにつけ、この言葉の力を根底にして、今日のあらゆる文化・文明を築いてきているのです。もし、言葉が無ければ一切のコミュニケーションが取れなくなり、全ての社会生活、一切の文化文明も一瞬にして崩壊してしまうことは明らかであります。

宇宙の真相実態はコトバ=波動によって生成している

このように捉えると、私たち人間にとって言葉がなによりも大切で重要なものであるかが理解出来るはずですが、ところが殆どの人は「言葉は道具の一つ」ぐらいにしか認識しておらず、言葉が発する波動の善し悪しによって自身の幸福と発展が左右されてゆくことに気付いていないのです。

聖書のヨハネ福音書に「初めに言葉ありき、言葉は神と共にあり、言葉は神なりき、すべてのものは言葉によって成った」と書かれています。言葉は音であり、音は波動です。現代科学の最先端の量子力学では「全てのものは波動によって成り立っていることが認知されていることは、広く知れ渡っています。



岡本天明

日月神示 地つ巻 三十四帖

神は言波ぞ。言波とはまことぞ。
息吹ぞ、道ぞ。
まこととはツツリ 合わした 息吹ぞ。
言葉で天地にござるぞ。言波で天地塗むぞ。
戦なくなるぞ。神國になるぞ。
言波ほど結構な 悪いものないぞ。

また二十世紀の最大の預言書の一つと言われている日月神示には「神は言波ぞ・・・」と謳われています。そして下に掲載した光透波の字割によって「神」の字を分析した図解で明らかなように「『神』は『音』が『申』されている」存在と解説されるのです。これらの事例で明らかなように「神は言波」であり、言葉→音→波動によって全てのものが生成されている、これが宇宙の真相実態であることに現代人は一日も早く気付く必要があるのです。

言葉の神性に気付いて言葉の乱れを正す必要が

そうして、「心と言葉は車の両輪」切っても切れない関係にあるのです。「人間」は「人言」であると言っても決して言い過ぎではありません。

言葉は波動であるのですから、言葉を正し、「誠」の字は「言を成す」と書かれてありますように、言葉を正し、誠を持って生きてゆくことが求められているのです。言葉を正すことにより健全な思考・意識、そして幸せな生き方が開かれてくるのです。

神

ネ

神は、ネが申しているのです

音はネと読みます。そうです、神は音で申されているのです

音は波動であり、エネルギーに繋がってゆきます。

申

現代人の多くはこの言葉の本質に気付かず、自身の発する言葉や外から入ってくる乱れた言葉によって、知らず知らずのうちに誘導され、思考や意識を歪め今日の歪んだ世相を創りだしているのです。

すなわち今日の人類社会を覆う嘘・偽り・誇張・作為的・破壊的・暴力的な言葉にのめり込んでいたら人類は何時まで経っても、幸せと調和と発展の道は得られないのです。何故なら乱れた波動では宇宙の法則に沿うことが出来ないからです。

今こそ「誠=真言」の心が求められているのです。

日本語文化の中で生まれた光透波は新時代の哲理

21世紀を迎えて時代が大きく転換しています。その潮流は物質・お金中心の時代から、精神と物質が調和する物心調和の時代に移ってゆくことです。

物・金・エゴ中心の体主霊従から共存共生の理想世界・霊主体従の時代へ転換する時を迎えている今日、私たちは言葉の乱れを正してゆくことが求められているのです。その指針が昔から言霊の国と言い伝えられてきた日本語文化の中から生み出されてきた光透波なのです。

光透波(コトハ＝言波)は、これから迎える理想の時代に先駆けて、人々にこの激動の転換期を乗り越えて、健全で豊かな生き方が掴めるように、言葉のエネルギーの活用法を伝え、学ぶことが出来る言霊学です。言葉には波動がありエネルギーがあるから、それが可能であるのです。

詳しくは本誌掲載の各地での光透波セミナーへ。そしてこの度、ヒカルランドから発行さ全国の有名書店(アマゾンでも購入可)で発売されています「日本語の言霊パワーと光透波エネルギー」をご高覧ください。 文責 宿谷

「日本語の《言霊》パワーと 光透波 エネルギー

全国有名書店 ヒカルランドから一斉発売中 アマゾンでも購入可 3000+税



「言葉」→「言波」→「コトバ」→「コトハ」→「光透波」は究極の波動エネルギー！
「人間」は「人言」、言葉に至ると「至言」、「至言」から「始原」エネルギーを発動！
光の言波の実践とは、ハッピーな良い言葉のエネルギーを知ることからはじまります。
言葉の波動が創造の力となり、苦悩を乗り越え、幸福な人生を切り開く源になるのです。
日本語の神秘的なパワーを知ることによって、日本人が本来もっている精神性を取り戻し、大和言葉の言霊に秘められている宇宙の叡智をつかみ取ることができる実践の書！
あなたが幸福、成功、健康を確立する実践のノウハウを掴む書です。

言葉・思考が自分を創造している。

宇宙は自分が発する言葉や思考に呼応して、それに見合ったものを与えてくれます。ですから、自分自身で自分の将来や現実を造り出すことができます。これが宇宙の仕組みであることに気付く必要があるのです。私たちはこのシンプルな真理に気付いて、ポジティブで幸福な人生を築いて行くことが求められているのです。

言葉を乱用、誤用して不幸と混乱を招く

ところが人類社会はこの真理に気付かず、言葉を乱用・誤用して、様々な混乱と不幸を誘発しています

言葉の乱れが心の乱れ、心の乱れが波動の乱れ、波動の乱れが世の乱れになっているのです。

ですから、私たちは意識的にポジティブな光の言葉を積極的に使うことが求められているのです。

そこに個人の幸福も、世の混乱を解消してゆく道もあることに気付く必要があるのです。

新著は光の言波の活用実践編です

この光の言波を的確に把握し自身の手中にする学び、それがこの本で明確に紹介されています。

「光の言波」の実践活用法を分かりやすく案内した本、それがこの度、ヒカルランドから全国の有名書店(アマゾンから購入可)で発売される表題の新著です。

混迷の時代に生きる現代人の道標(みちしるべ)として、音を開く||言葉を聞く、言戸||岩戸||言答開きの哲理||光透波を紹介し、併せて光の言波の活用と実践のノウハウを伝えています。

8月 光透波セミナーのご案内

●光の言波・真理教室 (第157回 光透波セミナー)

- 日 時 8月25日(日) PM 1:30~PM4:45
 - 場 所 神明いきいきプラザ 集会室 B(4F) 東京都港区浜松町1-6-7
 - 演 題 「言霊パワーと光透波エネルギー」 JR浜松町(北口) 地下鉄大門(B1) 各4分
 - 講 師 宿 谷 直 晃 ●参加費 3,000円
- ※ 講座の申し込み先 090-2447-2037 (宿谷まで)

●Zoom講座

- 8月27日(火) PM 8:00~PM10:00 「日本語・漢字・神代文字」
 - 講 師 宿 谷 直 晃 ●新規参加者 歓迎
- ※ お申込み、お問い合わせは宿谷へ syu98-8do8@mbr.nifty.com 090-2447-2037

●名古屋 命波学講座

- 日 時 8月 1日(木) PM 1:00~PM4:00 基礎講座 第12回
 - 日 時 8月 9日(金) AM10:00~PM1:00 和 や か 会
 - 日 時 8月19日(月) PM 1:00~PM4:00 基礎講座 第14回
 - 日 時 8月27日(火) PM 1:00~PM4:00 基礎講座 第12回
 - 日 時 8月28日(水) PM 1:00~PM4:00 基礎講座 第15回
 - 日 時 8月29日(木) AM10:00~PM2:00 基礎講座 第 2回
 - 場 所 實光透波スペース 名古屋市名東区香南1-103-8-201
 - 講 師 堀 尾 君 子 ●参加費 各3,000円
- ※ 命波学受講の日時調整可。お申し込み、問い合わせは堀尾へ 090-8499-5989

●第5回 神戸三宮 言霊セミナー

- 日 時 8月25日(日) PM 6:00~PM 8:00
- 場 所 神戸市中央区 三宮生田神社南近く ビル7F BAL バーNOEL
- 演 題 「2024年後半 生き延びるために必要なこと」 ●参加費 3000円
- 講 師 林 和 也 ※ 講座の申し込み先 090-8580-3776 (林まで)

※8月、磯部賢一先生の「光透波塾」の案内は休ませていただきます。

光透波の会

實光透波研究会	名古屋市名東区香南1-103-8-201	堀 尾 君 子
メールアドレス	s8910kimiko@yahoo.co.jp	090-8499-5989
光透波塾	名古屋市熱田区旗屋2-16-4	磯 部 賢 一
メールアドレス	isobekk50@yahoo.co.jp	090-9199-0248
光の言波, 真理教室	東京都品川区小山6-19-5	宿 谷 直 晃
メールアドレス	syu98-8do8@mbr.nifty.com	090-2447-2037
光透波, 言霊セミナー	兵庫県播磨町西野添2-5-12	林 和 也
		090-8580-3776

光透波のホームページ

<http://kotohawanokai.web.fc2.com>